

平成 28 年 2 月 8 日

滋賀県がん診療連携協議会

平成 27 年度 第 3 回 がん登録推進部会 議事概要

日 時： 平成 28 年（2016 年）2 月 8 日（月） 16：00～17：15

場 所： 滋賀県立成人病センター 東館講堂

出席者： 中川聖子（滋賀医科大学医学部附属病院）

廣瀬哲朗、森明子（大津赤十字病院）

沖野孝、小嶋一夫（公立甲賀病院）

寺村康史、志井千明（彦根市立病院）

東出俊一（市立長浜病院）

代）大橋依子（市立長浜病院）

木原明生、寺田貴子、森山都子（大津市民病院）

福山歩美（草津総合病院）

福森亮介（済生会滋賀県病院）

大西真（近江八幡市立総合医療センター）

楠井隆、吉田孝子（長浜赤十字病院）

太田悦子（東近江総合医療センター）

大橋信也（高島市民病院）

八木政廣（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

水田和彦、田中一史（滋賀県立成人病センター）

欠席者： 稲富理（滋賀医科大学医学部附属病院）

森谷季吉（草津総合病院）

土屋邦之（近江八幡市立総合医療センター）

鈴木聡（高島市民病院）

川瀬由美子（市立長浜病院）

豊田博進（滋賀県健康医療福祉部健康医療課）

打田拓也（滋賀県立成人病センター）

オブザーバー： 米澤寿裕（滋賀県立成人病センター）

（敬称略）

【議題等】

1. 今年度の PDCA のまとめ【資料①】

【Plan】「病理診断コードの精度管理」をテーマに、県内のがん拠点および支援病院間における原発部位ごとの組織診断名コードのばらつきについて検証する。

【Do】 各病院で、2013 年全国集計提出データの組織診断名コードを再確認した。

- 【Check】作業のために配布した「部位別組織診断名コードの分布」の25部位について、各病院で2部位～25部位(平均10部位)のコードを確認した。全体の確認件数は1,803件であった。確認部位および疑義については「肺」および「大腸」が非常に多かった。第3回実務相談会で各病院から作業内容を報告し、疑義について確認した。
- 【Act】確認の結果、132件(7.3%)の修正があった。疑義については2/12の実務研修会で講師に解説を依頼した。疑義の多かった「肺」および「大腸」については来年度の研修テーマとしたい。

2. アクションプランの最終評価【資料②】

- ◆ 本部会の事業計画どおりに進捗できたことから「A+」評価とする。
- ◆ 第2回がん登録実務者研修会では、初めての試みとして医師の参加を募ったところ、13名の医師が参加された。
- ◆ 第1回部会で審議したがん登録統計や生存率等の公開については、引き続き次年度に審議する。

3. 5年生存率算定共同作業

- ◆ 各病院の申請に基づき、今年度は5病院に約3,800件の地域がん登録予後情報を還元した。各病院の予後判明率が改善している。
- ◆ 滋賀県がん対策基本計画のがん登録に関する目標に「拠点病院の5年生存率公表」が挙げられている。公表の是非は本部会で審議を継続することとしたが、5年生存率の算定手法は実務者が習得しておくべきこととして、昨年度はデータ整理について勉強会を開催した。今年度は、実際の算定作業を協働して進める。
- ◆ データ整理ができた病院は、成人病センターにある統計ソフト(SPSS)を用いて実測生存率を算定する。(具体的な日程は個別に調整)

4. がん登録等の推進に関する法律(第44条)に基づく「院内がん登録の指針」

- ◆ 「院内がん登録の指針」とともに「院内がん登録運用マニュアル」が公開される予定である。(2016年診断から適用予定)
- ◆ マニュアルの主な内容は、①実施のための体制(組織体制や院内がん登録実務者について)②実施運用(標準登録様式(標準項目)、登録対象者の抽出および登録、品質管理、生存状況の確認調査、集計・分析など)③個人情報の取扱いなどである。
- ◆ 登録項目の変更により、院内がん登録システムの改修が必要となる見込みである。
- ◆ マニュアルには、ケースファインディングや登録時期(診断から4～6か月後)についても示される予定で、さらに標準化が進むと考えられる。

5. 全国がん登録および地域がん登録への届出方法について

- ◆先日、健康医療課から「全国がん登録への届出方法」について通知文書が送付された。がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、がん診療連携支援病院については、2015年全国集計へのデータ提出後にCSVファイルで提出していただく予定である。(詳細は、後日、別途連絡します。)
- ◆2014年の診断症例の未届出がある場合は、従来の届出様式で本年2月末までに県医師会に送付していただく。

6. その他

- ◆(がん登録対象症例見つけ出しに絡んで)細胞診ClassIII症例のフォローに関する各病院の取り組みについて情報交換した。

以上